

令和7年度 埼玉県高等学校体育連盟体操専門部 競技会規則

1. 競技規則

原則として日本体操協会採点規則(高校適用)による。県内高校適用を定めた場合は別に示す。

2. 参加資格

- (1) 埼玉県高等学校体育連盟に加盟する学校の生徒で、埼玉県体操協会に加盟し、日本体操協会登録規程に基づく加盟団体登録を完了した者に限られる。但し、休学中、留学中の生徒を除く。各競技会の参加資格については別に定める。
- (2) 年齢は、平成18年4月2日以降に生まれた者とする。(新人大会は平成19年4月2日以降)但し、出場は同一競技3回(新人大会2回)までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (3) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程・単位制課程の生徒による混成は認めない。
- (4) 複数校合同チームの大会参加を認めない。
- (5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。但し、一家転住等やむを得ない場合は高体連会長の許可があればこの限りではない。
- (6) 参加する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する校長の承認を必要とする。
- (7) 全国高等学校総合体育大会開催基準要項の参加資格の(8)の特例により参加資格を得たものは大会出場できる。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア. (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
 - イ. 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限とも高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ. 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ. 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア. 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合せ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ. 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

3. チーム構成と個人参加

チーム構成と個人参加は競技会一覧によるものとする。

競技会に参加するチームは、1加盟団体1チームとし、その編成は、同一加盟団体の構成員で行うものとする。

チーム選手の交代は、参加申込書に記載された補欠選手のみに限られる。その申告は競技会ごとに定められた受付時間内に行うものとする。

4. 個人参加制限

参加制限は競技会一覧によるものとする。

(1) 体操競技

チームとして参加しない団体は、個人選手2名までを参加させることができる。

チームとして参加する団体は、チームの他に個人選手を制限無く参加させることができる。

(2) 新体操

高校選手権は男子制限なし、女子は1人1種目とする。

5. 引率・監督・コーチ

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員(公立の場合は教員)とする。

個人の場合は校長の認める学校の職員(公立の場合は教員)とする。

また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。

但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る。

- (2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

- (3) 競技会の参加に際しては、引率責任者またはそれに代わるものが引率し、付き添っていることとする。
また学校は参加選手の行動に対して責任を負うものとする。
正当な理由なく付き添いのない場合は、競技への参加を認めない。
- (4) 競技中の疾病・傷害などの応急措置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (5) 競技中アリーナに入れる者
チームリーダー1名とコーチ又はチーム内選手1名、合計2名が入れる。
チームリーダーは顧問・コーチ・チーム内選手とする。
コーチについては、選手の安全面を考慮し、選手1名につき1名入れる。
- (6) 顧問(競技役員・審判役員)がチームリーダーやコーチとしてアリーナに入る場合
希望があり可能であれば、大会業務を一時外れることができる。事前に申し出ること。

6. 演技順序の編成

運営者が厳正に行う。体操競技・新体操ともに前回競技成績等により組編成をおこなう。

- (1) 体操競技 団体競技・個人競技の上位を、出来る限り同一班に組み入れる。
(2) 新体操 団体競技上位6位、個人競技上位6位(関東予選会は8位)はシードとする。

7. 参加申込

参加申込書は高体連HP又は体操協会HPからダウンロード(Excelデータ)又は県体操協会要覧にある用紙を利用する。
所定の書式を使用し、本専門部事務局に提出すること。期限は大会実施要項の通りとする。

学校ごとに別に定める番号を背番号(新体操は選手番号)とし、参加申込にあたり、申込書に記入すること。

参加申込書の提出は、持参するか郵送により送付することとする。提出遅延の理由が運営者側にある場合を除き受け付けない。また、電話による申告も認めない。

学校総合体育大会・県新人大会については大会運営負担金500円/1人を大会当日に納入する。

新体操高校選手権大会はメールにて申し込む。大会参加費は別に定める。

※個人情報の取扱いに関して 大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

8. 上位大会出場権の決定

常任委員会において記録部長作成案を委員長が提案し、専門部長が決定する。

【予選会における上位大会出場権決定に関する申し合わせ事項。(団体・個人)】

関東大会	①団体	団体選手権上位2チーム。(開催県枠・前年度優勝校枠がある場合は追加される)
	②個人	・出場権獲得チームの予選会出場をメンバーを除いた個人選手権上位4人 ・出場権獲得チームの団体補欠予定者を除く。 ・出場権獲得チームからは、2人までとする。 ・個人出場枠は、男子は1校3名までとする。 ・新体操は団体メンバーを含め個人選手権上位5人
	③個人補欠	・出場権獲得個人が申込までに出場不可能となった場合のため、個人補欠を2人決める。 ・出場権は繰り上がりのため、個人補欠以外が出場権を獲得する場合もある。
インターハイ	①団体	・団体選手権優勝チーム。
	②個人	・個人選手権6位以内で出場権獲得チーム以外の上位2人。 ・上記選手が2人に満たない場合は、出場権獲得チームの予選会出場メンバーと団体補欠を除いた個人選手権上位の2人。 ・新体操は団体メンバーを含め個人選手権優勝選手。
	③個人補欠	・上記①、②を除いた個人選手権上位2人。新体操は個人選手権上位選手。
全国選抜大会	①団体	・団体選手権上位チーム。
	②個人	・個人選手権上位選手。

9. その他

- (1) 公益財団法人全国高等学校体育連盟競技者及び指導者規程を遵守すること。
- (2) 出場校は原則として大会期間のすべてに参加すること。
- (3) 体操競技会に参加する各選手(新体操は除く)は、定められた背番号をつけて演技するものとする。
- (4) 体操競技会に参加する各学校は、別に定める規格により、種別により各1個のプラカードを用意して持参し使用する。
個人選手の組のプラカードは運営者が用意する。(新体操は除く)
- (5) 体操競技会に参加するチームの選手は、各演技種目ごとに演技順序を変えることができる。
選手の演技順序を記したオーダー用紙を各チームで用意し、各種目の演技に先立って主任審判に提出する。
個人班の演技順序は繰上りを原則とする。種目ごとの棄権等による調整や班内監督の相談による調整等は可とする。
- (6) 参加者は、所定の集合完了時刻30分の間に、引率顧問により受付を済ませることとする。
受付の内容は次のとおりとする。
- (1) プログラムなどを受領すること。
(2) 選手の変更・棄権の申告をすること。
(3) その他必要な事項。

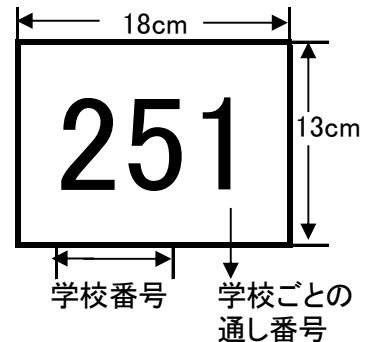
10. 背番号・プラカード・オーダー用紙について

★体操競技

＜背番号の作成規格＞

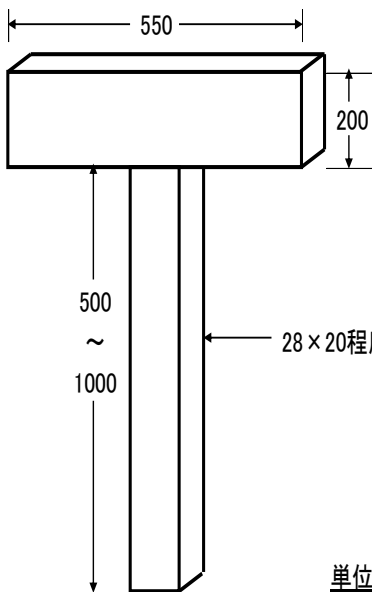
- ①県内競技会の体操競技に参加する選手の背番号は、各競技会ごとに、以下に示す要領により各学校で決定し、参加申込書に記載して申告するものとする。(各選手の番号は競技会ごとに異なってもよいが、当該年度選手登録を完了しているものとする)
- ②番号は2桁または3桁とし、最初の1～2桁は学校番号とし、最後の桁は、競技会ごとに1から通し番号とする。(各学校は1～9までとし、10名以上となった場合は、最初の桁を0とし、以下同様とする。)
- ③補欠選手が交代する場合は、自分の番号を使用する。
- ④学校番号は、毎年度前年度登録により定め、当該年度に新規登録した学校には登録と同様に学校番号を交付する。

(例)



白布で、男は黒字、女は赤字。

＜プラカードの作製規格＞



- (1) 白地に黒の文字とする。
- (2) 文字は、イ、楷書又はゴシック体とする。ロ、両面に書くこと。ハ、「〇〇高」と書くこと。

単位 mm

＜オーダー用紙＞ 種目ごとに作成する。

チーム名		
種目		
背番号	演技順	ふりがな 氏名
番号順に記入	数字で記入	フルネーム を記入

※大きさB7(更紙1/8大)

11. 競技会参加者及び関係者は以下の内容を遵守してください。

『全国高体連体操専門部ブログ』で確認できます。

- ・ 令和7年度 競技規則・採点規則の全国高校適用 体操競技男子・女子共通
- ・ 令和7年度 競技規則・採点規則の全国高校適用 新体操男子・女子共通
- ・ 令和7年度 高等学校適用規則 (C1・C2・C3・C4)
- ・ 競技服装のマークに関する規定
- ・ 高校総体参加者への遵守事項
- ・ 全国高等学校総合体育大会体操競技大会におけるタイブレークについて(男女共通)
- ・ 全国高等学校総合体育大会新体操大会におけるタイブレークについて(C3・C4)

